

5領域のつながりを明確にした支援内容
放課後等デイサービス ペこぼこ

5領域項目	人間関係・社会性
主なねらい	①社会性の獲得、集団行動での対応
	②自己理解、及び行動の調整
	③人間関係の形成
具体的な支援内容	
①社会性の獲得、集団行動での対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・話す、聞く、触れるなど人との関わりの中で人間関係を意識し、信頼関係づくりを支援していく。 ・他者との関わり方を活動の中で学ぶことが出来るよう、状況や場面に合わせたやり取りの仕方を習得する。 ・個別活動から集団活動に移行できるよう、それぞれの特性を理解し状況や場面などに合わせて、人との関わりにプラスのイメージを持つことが出来るよう支援を行う。 	
②自己理解、及び行動の調整	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特性に合わせて、声掛けのタイミングや指示の出し方を統一して支援を行う。 ・自分の気持ちの理解が出来るよう、視覚的なツールを用いて感情の表出を行う。 ・出来る出来ない、勝ち負けなどを理解して感情のコントロールと自己理解が出来るように支援を行う。 	
③人間関係の形成	
<ul style="list-style-type: none"> ・本人たちが安全に楽しめるように、支援者が自ら楽しめる空間づくり、雰囲気づくりを行う。 ・相手の気持ちの理解や自分の気持ちの発信を適切に出来るよう、支援者は代弁をしてスムーズに人間関係が構築できるサポートを行う。 ・信頼関係が安定し、人間関係の構築や継続が出来るようにサポートを行う。 ・遊びを通して、人と関わる楽しさや難しさを経験しながら人間関係を形成していく。 	
その他・備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・本人の表情や行動の変化を意識するよう心がけ、感情の表出等が出来るよう支援を行う。 ・それぞれの特性に合わせて、他者との関係づくりのきっかけを常に配慮しながら支援を行う。 	

5領域のつながりを明確にした支援内容
放課後等デイサービス ペこぼこ

5領域項目	言語・コミュニケーション
主なねらい	①基礎的なコミュニケーション能力の獲得
	②適切なコミュニケーション手段の選択、活用
	③言語理解の促進、言語能力の向上
	④非言語コミュニケーションの獲得、活用
具体的な支援内容	
①基礎的なコミュニケーション能力の獲得	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 集団、個別活動の中で、言葉を通してコミュニケーションが取り合えるよう支援を行う。 ・ 言葉の受容が少しずつ進み、自ら伝えたい、理解してもらいたい、発信したいと思えるような支援者との関係づくり、環境づくりを行う。 	
②適切なコミュニケーション手段の選択、活用	
<ul style="list-style-type: none"> ・ それぞれの特性に合わせて必要な言語、ジェスチャー、絵カード、筆談など様々な手段の中から選択し最大限に活用できるように支援を行う。 	
③言語理解の促進、言語能力の向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 絵本や物語、日々の集団活動で人物の気持ちを理解し、言語理解の向上を目指す。 ・ 言語コミュニケーションを使用する場合、適切な活用方法を場面や状況に合わせて理解できるよう繰り返し支援を行う。 ・ それぞれの特性に合わせて、具体的な体験、経験の意味を理解できるように、その状況や事実を代弁して声や言葉、音として記憶するための支援を行う。 	
④非言語コミュニケーションの獲得、活用	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 非言語コミュニケーションを使用する場合、場面や状況に合わせて使えるようにする。 ・ ジェスチャー、絵カード、筆談など、本人の特性に合わせて必要な選択ができるよう支援する。 	
その他・備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人の好きなものや得意なことを活かして、言葉や気持ちの表出が出来るように支援を行う。 ・ 特性に合わせた表出、受容の仕方と一緒に見つけていく。 ・ 本人が伝える、受け取ることの楽しさを経験できるような活動、環境づくりを行う。 	

5領域のつながりを明確にした支援内容
放課後等デイサービス ペこぼこ

5領域項目	認知・行動
主なねらい	①適切な認知と行動の獲得
	②空間・時間・数などの概念の理解
	③行動障害の予防、対応
具体的な支援内容	
①適切な認知と行動の獲得	
<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの特性に合わせ、五感を十分に使い必要な情報を習得しやすいような色、形などの絵や文字の使用、音や香り、匂い、味、触り心地の感覚や温湿度などの認知機能の発達を促す支援を行う。 ・ホワイトボードや個別のスケジュールを使用し、本人が自発的に時間や内容、行動を理解し切り替えが行えるよう支援を行う。 ・将来を見通し、生活の中で偏食やこだわりなど少しずつ崩していけるような代替支援を行う。 	
②空間・時間・数などの概念の理解	
<ul style="list-style-type: none"> ・空間（高い、低い、遠い、近い等）、時間（早い、遅い等）、数（多い、少ない、大きい、小さい等）の理解が出来るよう、具体的なツールや課題を用いて支援を行う。 例) ブロックを用いて大きい小さい、ボールの大小、紐の長さ等は具体物で理解を促す支援を行う。 例) その日の活動をホワイトボードや個別のスケジュールを使用し時間、予定を自発的に行えるように支援する。 	
③行動障害の予防、対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・集団活動や個別活動の中で、ルールの理解や予定の把握行動の流れがそれぞれの特性に合わせて理解できるよう支援する。 例) お手本を見せて視覚的にルールを伝える。 例) 視覚的にいつ・どこで・誰と・何を・どのようにするのかを自発的に理解できるようスケジュール支援を行う。 ・行動障害によるトラブル防止の為、代替行動を提示、指示しながらこだわりや特性を緩和できる支援を行う。 	
その他・備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・支援環境の構造化を行いながら、おもちゃや各活動道具の片付ける位置を把握できるような視覚的支援を行う。 ・色分けや形で分けて子ども達が視覚的にも判断理解が出来るように支援を行う。 	

5領域のつながりを明確にした支援内容
放課後等デイサービス ペこぼこ

5領域項目	運動・感覚
主なねらい	①座位・立位での姿勢保持、及び基本的動作の獲得
	②基本的身体能力の形成、向上
	③感覚の活用手段の獲得、及びその対応
具体的な支援内容	
①座位・立位での姿勢保持、及び基本的動作の獲得	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常生活に必要な、基本となる姿勢保持（座位、立位）を椅子等で補助しながら正しい姿勢を身に着ける。 ・ 日常生活で使用する基本的な動作（衣服の着脱・うがい・排泄・食事等）の支援を行う。 ・ 生活の中で必要な補助具、食事の各種補助ツール（スプーン、フォーク等）を効果的に活用出来るように支援する。 	
②基本的身体能力の形成、向上	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 季節に合わせた遊びを提供しながら、五感を使って楽しめる創作活動を行う。 ・ 全身を使う遊び（トランポリン、縄跳び等）を用いて、運動や動作の習得及び改善、筋力の維持、向上、強化を図る。 ・ 集団活動時、遊びを通して自然な体の使い方を学ぶことが出来るように工夫を行う。 	
③感覚の活用手段の獲得、及びその対応	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 遊びを通して、本人が持つ感覚や五感を最大限に活かせるような支援を行う。 ・ バランスボールやトランポリンで平衡感覚、体幹の発達を行う。またボール投げ、ボール蹴り、縄跳びなどで動作の強弱や瞬発的な行動、停止などの能力が発達できるよう支援を行う。 	
その他・備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 体の感覚運動を鍛えることが出来る環境を整えながら、その補助となる道具の用意も増やしていく。 	

5領域のつながりを明確にした支援内容
放課後等デイサービス ペこぼこ

5領域項目	生活・健康
主なねらい	①生活習慣や生活リズムの形成、改善
	②清潔保持、身だしなみなどの身辺自立
	③健康状態の維持と管理、改善
	④日常生活動作の獲得
具体的な支援内容	
①生活習慣や生活リズムの形成、改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所時に荷物の管理、整頓をおこなう。ロッカーに自分の荷物等を入れる。 ・ 下駄箱への靴の収納を行う。 ・ 使用したものの片づけ等の支援を行う。 	
②清潔保持、身だしなみなどの身辺自立	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 来所後、手洗いうがい等の清潔保持の練習と支援を行う。手順等が口頭では理解できない児童に対しては、個別に手順書等の可視化できるツールを使い支援を行う。 ・ 衣服の着脱時、身だしなみチェックを自発的に行えるよう、姿見を用意する。 ・ 清潔保持等のために必要があれば、支援を行う。（薬の塗布見守り等） 	
③健康状態の維持と管理、改善	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 自らの健康状態を把握（鼻水が出る・咳が出るなど）する際に、自分で鼻をかむ、マスクをするなど自発的な健康維持が出来るようサポートする。 ・ 体重の増加等で生活に支障が出ないよう、全身を使った遊びを取り入れながら、ご家庭と一緒に健康管理を行えるようにする。 	
④日常生活動作の獲得	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 食事、排泄、着替え、その他日常生活動作の獲得を、個々の成長段階に合わせて支援する。 ・ おやつ作り、買い物活動などの機会を取り入れ、日常で使うスキルを獲得出来るよう支援を行う。 	
その他・備考	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 支援環境の構造化を行いながら、おもちゃや各活動道具の片付ける位置を把握できるような視覚的支援を行う。 ・ 活動スペースを食事、集団活動、身辺自立などエリアごとに分け、どこで何をするのかを明確にした支援を行う。 	